

11月16日  
ベンチ設置

皆で造ったベンチの受入先の皆さんです。  
まちに馴染む使い易いデザインが大好評です♪

良い色だね♪  
重さが程良くて移動がしやすい！  
造りがっかりしていて良いね！  
丁度良いサイズがお店にピッタリ♪



塗料乾燥後のベンチを消防第二分団  
め組の浅沼さんにより受入先へ配達。  
地域の安心安全を静かに支えるさり気  
ない優しさとタフさがにじみ出るひと  
コマです。そして、完成したベンチに  
対した受入先の皆さんに使い易いデ  
ザインと丁寧な造りが大好評でした。



**選ばれた場所の理由**

- ・桜など綺麗な植物や景色が見られる
- ・人が集まる拠点となる屋根がある店
- ・子供もお年寄りもゆっくり交流できる
- ・季節の変化、歴史を感じる通り
- ・屋根、水がある、景色が良い青龍水
- ・まちの雰囲気を感じる程良い空間
- ・綺麗な景色が見える静かな場所
- ・美味しいにおいがする店の近く
- ・地域を感じられる蔵、川沿い
- ・イベントや花火が楽しめる
- ・買い物や通学途中に休める
- ・町の掲示をゆっくり見られる



—「使ってこそ生きるカタチあるもの」—  
まちなかでベンチを見つけたら、どんどん座って使いましょ！  
買物・通院途中、登下校・仕事帰りに。考え事したり、通りすがりの人とご挨拶、  
ご近所さんと世間話、地域行事を楽しんだり。あなたもまちの歴史と景色の一部に。

ベンチ工作に参加した皆さんの感想を一部ご紹介します。



地域の先輩たちから  
学んで作業を進めて  
いく子供達を見て、  
頼もしく思った。

初めての工作不安  
だったけど、やってみ  
たら楽しかった。また  
ベンチをつくりたい。

お昼ご飯やおやつが  
美味しかった！

みんなで形あるもの  
を作るって楽しい！  
気持ちの良い体験  
でした。

立派なベンチができて、  
町の中が楽しく  
なりそう♪

息子との良い思い出  
になりました。楽し  
かったです！

皆での作業が楽しか  
った。自分が作った  
ベンチに座りたい。

初めての体験楽しか  
ったありがとうございます。  
大人になっても  
ベンチがあると良い。

みんなと一緒にベン  
チを造ったことが思い  
出になった。有効に  
使われますように。

皆と造った素敵なベ  
ンチ。自分達の街に  
多くの人が大切に使  
ってくれたら嬉しい。

地域の老若男女が  
作業し、交流する場  
となり、楽しい1日だ  
った。

子供達の懸命な姿  
が印象的。ベンチを  
見る度に思い出すと  
思います。

和気あいあい♪小  
学生から元気をもら  
い、楽しい輪が広が  
る一日だった。

ベンチ塗りや組立作  
業ができて嬉しかっ  
た。またやりたい。

子供達との作業、  
1つのものを作り上  
げた事が嬉しく、良  
い体験になりました。

皆で協力しながら  
ベンチを造れた。皆が  
ゆったりできるベンチ  
になりますように。

小学生の皆さんは、初めての体験に最初は不安だったようですが、やり遂げてみてとても楽しい体験になったようです。お父さんお母さんに先輩方も、子ども達に負けず劣らず、一からのモノづくりに没頭し、清々しい達成感を味わったようでした。共同作業を通じて、ともに思い出に変わる交流の時間となりました。

4 「まちなか・ベンチプロジェクト」にご協力頂いた皆さんありがとうございました。これからもよろしくお願ひします。



このまちで出会う  
住まう人・働く人・集う人  
皆で使えるベンチを造りました

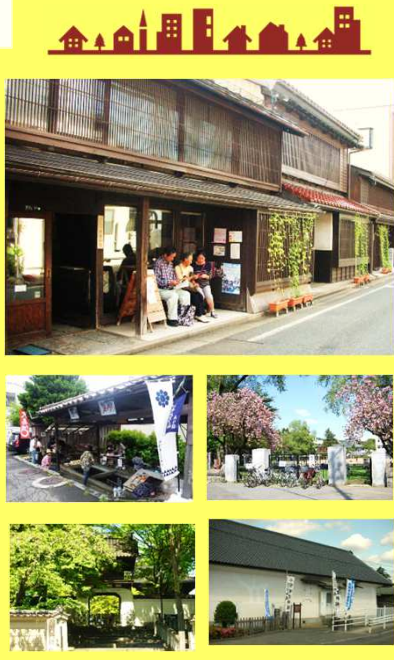
まちなかベンチプロジェクト

2017 開催レポート

「まちなか・ベンチプロジェクト」とは？

岩手県盛岡市大慈寺地区には、現在も盛岡町家などの多くの歴史的建造物を含む歴史的な街並みと暮らし文化があります。この鉈屋町、大慈寺町、南大通界隈にて地域の良好な街並み作りを目的に、2017年9月から11月の約2か月間に渡り実施された盛岡市の住民協働事業です。この地域に所縁のある（住まう、働く、活動する）皆さんと協力しながら互いの特技を持ち寄ることで「まちなか・ベンチプロジェクト」は実現しました。企画からまちなかにベンチが届くまでの歩みをご紹介します。

- プロジェクトの流れ
  - 9月 ベンチ設計、市産材木材申請、開催案内、まち歩き
  - 10月 設置場所候補地へ聞き取り、試作品作成
  - 11月 ベンチ工作（塗装、組み立て）、ベンチ設置、利用開始
- ベンチの概要
  - <15台 >
  - 幅100
  - 高さ44
  - 奥行32 cm



まちなかにベンチがある事でこんなコト生まれたり良いな♪

- ★ ちよとした休憩所ができて親子連れ、高齢の方も外出しやすくなる
- ★ 歴史の移り変わり、自然に触れて四季の移ろいを体感できる
- ★ 行き交う人々と出会い挨拶や会話など地域交流が生まれる
- ★ 地域に対する関心が増え、お互いの変化に気づくことができる
- ★ 地域を見守る場所となり、ご近所同士の防犯・互助意識が生まれる
- ★ 伝統行事、イベントをゆっくり楽しむことができ、地域文化へ興味関心が深まる

9月30日  
まち歩き

普段過ごしているまちの風景にじっくりと触れ  
改めてまちを感じ、思い、考える時間になりました



まずは、大慈寺地区をまち歩き、  
まちの良いなと思うポイントを写真  
撮影しながら、ベンチの置き場所を  
検討しました。そして、まちについて  
感じた事、ベンチのあるまちでやっ  
てみたい事についてアイデアを出し  
合いました。



町内会、子供会育成会、企業さん、盛岡まち並み塾、  
もりおかワカものプロジェクト、盛岡市観光交流課  
の皆さん約20名の参加者でグループワーク。「複数の  
目」でまちをじっくり観察します。共同作業を通じて  
世代、所属の枠を越えた交流の機会となりました。



まち歩きの感想

気づいた♪まちの良いところ

- ・綺麗な景色が多い **実 感**
- ・ゆっくり歩くのちょうど良い
- ・やっぱり落ち着くまち
- ・自然や季節を感じることができる **発 見**
- ・古くて新しい時代の流れを感じられる
- ・古い石垣が残っている **確 認**
- ・自分で“見つける楽しみ”があるまち

まちでやれたら良いな♪

- ・お年寄りに丁度良い“健康散歩コース”作り
- ・ベンチ設置で住人の美化意識向上に期待
- ・買い物帰りにゆっくり休みたい **期 待**
- ・イベントの時にゆっくり楽しめる
- ・地域の色々な人に出会いたい
- ・子どもたちが集う場所 **楽 しみ**
- ・宝探し フォト・スタンプラリー
- ・ご近所はしご酒 **想 像**
- ・小学校の桜で花見会
- ・俳句会、スケッチ会、お茶会
- ・地域住人の特技を持ち寄るワークショップ
- ・町案内ガイド講座
- ・CMなどのロケ地に

さー、まちに  
出かけよう♪

10月31日  
木材手配

ベンチの材料は  
盛岡市市産材を活用しました



ベンチの材料となるスギの木は、盛岡市の森林から  
生産された木材を支給する事業を活用して準備しました。  
盛岡市林政課を経由し、メーカーで加工された木材は、  
鉈屋町の手芸教室「スペース鉈屋町」さんに、届けられ  
ました。盛岡には素晴らしい資源がたくさんあります。



ベンチプロジェクトは平成22年にも実施  
しています。大慈寺地区コミュニティ消防  
センター、大慈清水、大慈清水御休み  
処にベンチが設置されました。今回はそ  
のベンチを参考に、一回り小さいデザイン  
を考案しました。手芸教室スペース鉈  
屋町の吉田さん、鉈屋町内会顧問の  
大坊さんなどでデザインを検討しました

11月6日  
木材加工

作る人、使う人への“思いやり”  
“地域の職人”の技が光ります



小学生の皆さんや初めての人でも  
作業しやすいようネジ穴をあけます  
座り心地をよくするため、体には  
れる部分の板の角をおとします

ベンチ組立手順、作業時間の確認をかねて試作品作り。  
ワークショップ参加者の皆さんがスムーズに作業できる  
よう、木材の細かな部分の加工と下準備を行いました。  
担当したのはベンチの設計者である「スペース鉈屋町・  
町家サロンびび」の吉田さんと、鉈屋町舟っこ流し船  
大工棟梁の山本さん&奥様（鉈屋町婦人部長）。  
15台分の材料約200パーツを1日ばかりで加工していく  
様子、その姿はまさに職人！！  
このような、地域に潜んでいる一人一人の皆さんの才能  
や技術、誠実さや思いやりは、その土地のお祭りや文化  
を守り引き継ぐチカラにも繋がっているという事を、改  
めて感じるひとコマでした。



試作品が  
完成～♪



11月11日  
ベンチ工作

組み立てから塗装まで、  
皆で協力してベンチ15台の完成を目指しました。



鉈屋町町内会報「鉈屋町たより」  
編集者・副町会長の吉田さん  
が駆け付けました。11月11日の  
様子は第24号に掲載。



ベンチは歴史的街並みに馴染もブラウン。  
環境にやさしい自然塗料を使用しました。



10:00

おはよう  
ございます



浜藤（はまつ）ホールではオリエン  
テーションがスタート。「まちをつくる要  
素」と「ベンチと座ること」についてレク  
チャーを受け、プロジェクトの目的とス  
ケジュールを共有します。



会場は、もりおか町家物語館。もとは岩手川酒造鉈屋町工場でした。



3班に分かれて、各5台ずつベンチを作成します。組立からスタートするチームと、塗装からスタートするチームに分かれての作業。



おさえながら

15:00

完成したベンチの裏に、参加者の  
記念サインをいれ全行程終了！



おやつとお昼

愛情いっぱい地域の味のお陰で  
午後まで元気に作業ができました♪



みっちり詰まった♪  
秋・限定の栗アン

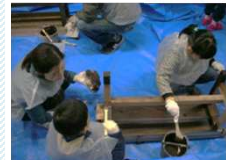
「十字街御休み処一盃森」さんの 鯛焼き



母ちゃんサークル「いづみや」さんの豚汁



ひらひらした  
豚肉が♡ツガリ♪



「風の広場」では職人チームが事前に組み立てたベンチにやすりをかけます。表面を磨き平らにすることで塗装が綺麗  
に仕上がります。「下屋（げや）」では塗装チームがブルーシートを張ります。会場をきれいに保ちながらのびのびと  
作業ができるように準備を進めます。

山本棟梁のサポートのもと、下の部分から組み立てます。  
電動ドライバーでスピーディーに組み立てていきます。



ウーン！

塗装技術指導担当は、もりおかワカものプロジェクトから本業が塗装屋さんの黒澤  
さんが登場。優しく丁寧な説明で、初めての皆さんもスイスイ楽しそうに作業してい  
ました♪小学生の皆さんよ、お父さんお母さんの方が没頭したいみたい？



「スーパーかわつ」さんのおにぎり弁当 ごちそうさまでした♪

自分の手で作り出す。自分が作ったものが人の役に立つ。自分自身も嬉しくなる。3つの体験が楽しくできますように。